

平成年31月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月6日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東
 コード番号 3173 URL <https://www.cominix.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳川 重昌
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長兼経理部長 (氏名)林 祐介 (TEL)06(6765)8201
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	19,044	9.9	820	34.7	796	30.8	460	37.8
30年3月期第3四半期	17,326	14.6	609	95.5	609	99.9	334	64.1

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 390百万円(5.3%) 30年3月期第3四半期 370百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	67.10	—
30年3月期第3四半期	48.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	14,759	5,268	35.4
30年3月期	14,167	5,028	35.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,225百万円 30年3月期 4,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
31年3月期	—	11.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	13.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	8.1	1,050	24.8	1,040	24.3	557	20.3	81.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期3Q	6,868,840株	30年3月期	6,868,840株
31年3月期3Q	258株	30年3月期	220株
31年3月期3Q	6,868,599株	30年3月期3Q	6,868,620株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年12月31日）における我が国経済は、企業業績が堅調に持続し、米中貿易摩擦の長期化や、それに伴う中国経済の減速を背景に、外需の景気けん引力は低下するものの、高水準の企業収益を背景に、企業の投資マインドは底堅く推移いたしました。

世界経済も米中貿易摩擦等の影響で先行きの不透明感が高まりましたが、堅調な米国経済を背景に全体として緩やかな成長が持続しました。

当社グループの属する機械工具業界は、堅調に推移しているものの、直近の工作機械受注総額は前年実績を下回っており、米中貿易摩擦を背景に顧客の投資様子見の状況が継続する見通しとなっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、平成30年7月に新基幹システムや名古屋ロジスティクスセンターの稼働により業務の標準化・効率化、内部統制の強化の推進を継続してまいりました。

営業面では、収益基盤の強化のための施策として三重営業所を、メキシコの新拠点としてメキシコ現地法人がケレタロに営業所を、鉱物資源ビジネスの拠点としてモンゴル駐在員事務所（Cominix Mongolia Representative Office）を開設いたしました。また取扱製品の拡充としてYG-1製品の取り扱いを開始いたしました。その他、日本国際工作機械見本市（J I M T O F 2018）へ出展するなど新規顧客の開拓や企業価値の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は19,044,910千円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益は820,734千円（前年同四半期比34.7%増）、経常利益は796,404千円（前年同四半期比30.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は460,877千円（前年同四半期比37.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

切削工具事業

切削工具事業につきましては、機械工具業界が引き続き堅調に推移する中、卸部門においては名古屋ロジスティクスセンターの本格稼働による物流の効率化やYG-1製品等の新商材の拡販などにより業績は堅調に推移いたしました。直販部門においては、顧客の設計段階から関与し提案を行うなど技術営業体制の強化を継続して推進した結果、自動車、工作機械などの業界向けの販売が堅調に推移したことから、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は11,979,512千円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント利益は427,226千円（前年同四半期比40.7%増）となりました。

耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、国内製缶業界の主要企業の業績が好調に推移する中、製缶メーカーの一部主要顧客向けの販売が引き続き堅調に推移し、製缶以外の分野である製袋・破碎刃等の販売も積極的に取り組んだことなどから、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,247,984千円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益は241,034千円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

海外事業

海外事業につきましては、貿易摩擦の影響を主因として世界経済が減速基調となる中、当社においては進出しているすべての国の売上が前年同四半期実績を上回るなど堅調に推移し、新規ビジネスである鉱物資源ビジネスの販売も徐々に増加していることなどから売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は3,842,380千円（前年同四半期比14.0%増）、セグメント利益は110,199千円（前年同四半期比84.9%増）となりました。

光製品事業

光製品事業につきましては、中国でのフラットパネルディスプレイ関連の投資は貿易摩擦の影響が懸念されるものの現状は好調に推移しており、当社における外観検査装置業界への光学機器等の販売も堅調に推移したことなどから売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は975,032千円（前年同四半期比21.2%増）、セグメント利益は47,666千円（前年同四半期比34.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて552,104千円増加し、12,173,596千円となりました。これは主に、名古屋ロジスティクスセンター開設及び取扱商品の拡充に伴い商品が533,969千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて40,403千円増加し、2,585,986千円となりました。これは主に、本社の改修工事及び社名変更に伴う看板等の設置により建物及び構築物（純額）が42,079千円、基幹システムの構築等に伴う無形固定資産のその他が32,343千円増加した一方で、のれんの償却によりのれんが25,392千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて592,507千円増加し、14,759,582千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて99,914千円増加し、7,992,429千円となりました。これは主に、短期借入金が523,060千円増加した一方で、法人税等の支払いにより未払法人税等が152,595千円、支払手形及び買掛金が144,445千円、賞与引当金が75,318千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて252,922千円増加し、1,499,084千円となりました。これは主に、長期借入金が222,269千円増加したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて352,837千円増加し、9,491,513千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて239,670千円増加し、5,268,068千円となりました。これは、利益剰余金が309,768千円（親会社株主に帰属する四半期純利益460,877千円、剰余金の配当151,109千円）増加した一方で、為替換算調整勘定が53,252千円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては平成30年5月8日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,760,722	1,814,593
受取手形及び売掛金	5,366,461	5,305,461
商品	4,199,312	4,733,281
その他	340,030	363,995
貸倒引当金	△45,033	△43,735
流動資産合計	11,621,491	12,173,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	274,450	316,530
土地	891,806	891,806
その他(純額)	159,346	157,910
有形固定資産合計	1,325,604	1,366,247
無形固定資産		
のれん	25,392	—
その他	196,041	228,384
無形固定資産合計	221,433	228,384
投資その他の資産		
その他	1,016,077	1,010,173
貸倒引当金	△17,532	△18,819
投資その他の資産合計	998,545	991,353
固定資産合計	2,545,583	2,585,986
資産合計	14,167,075	14,759,582
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,992,477	4,848,032
短期借入金	1,605,840	2,128,900
1年内返済予定の長期借入金	423,201	429,540
未払法人税等	265,903	113,308
賞与引当金	170,240	94,922
役員賞与引当金	42,300	38,747
その他	392,551	338,978
流動負債合計	7,892,514	7,992,429
固定負債		
長期借入金	794,648	1,016,917
役員退職慰労引当金	194,387	209,086
退職給付に係る負債	247,961	263,957
その他	9,164	9,123
固定負債合計	1,246,161	1,499,084
負債合計	9,138,676	9,491,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	4,158,363	4,468,132
自己株式	△118	△155
株主資本合計	4,838,641	5,148,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,960	18,865
為替換算調整勘定	111,927	58,674
その他の包括利益累計額合計	156,887	77,539
非支配株主持分	32,869	42,156
純資産合計	5,028,398	5,268,068
負債純資産合計	14,167,075	14,759,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	17,326,964	19,044,910
売上原価	13,808,815	15,044,791
売上総利益	3,518,149	4,000,118
販売費及び一般管理費	2,909,055	3,179,383
営業利益	609,093	820,734
営業外収益		
受取利息	999	2,249
受取配当金	3,312	3,936
仕入割引	41,958	38,979
保険解約返戻金	7,375	15,029
その他	12,806	17,138
営業外収益合計	66,452	77,333
営業外費用		
支払利息	13,658	19,477
売上割引	29,076	32,654
為替差損	11,214	31,828
その他	12,565	17,703
営業外費用合計	66,516	101,663
経常利益	609,030	796,404
税金等調整前四半期純利益	609,030	796,404
法人税、住民税及び事業税	263,299	309,404
法人税等調整額	10,388	15,872
法人税等合計	273,688	325,276
四半期純利益	335,342	471,128
非支配株主に帰属する四半期純利益	893	10,250
親会社株主に帰属する四半期純利益	334,448	460,877

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	335,342	471,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,401	△26,095
為替換算調整勘定	16,248	△54,216
その他の包括利益合計	35,649	△80,311
四半期包括利益	370,991	390,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,376	381,529
非支配株主に係る四半期包括利益	614	9,286

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	11,110,906	2,042,048	3,369,544	804,465	17,326,964	—	17,326,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,757	—	13,353	—	22,111	△22,111	—
計	11,119,664	2,042,048	3,382,897	804,465	17,349,075	△22,111	17,326,964
セグメント利益	303,579	211,320	59,613	35,408	609,922	△828	609,093

(注)1 セグメント利益の調整額△828千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	11,979,512	2,247,984	3,842,380	975,032	19,044,910	—	19,044,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,230	—	10,893	—	19,123	△19,123	—
計	11,987,743	2,247,984	3,853,274	975,032	19,064,034	△19,123	19,044,910
セグメント利益	427,226	241,034	110,199	47,666	826,126	△5,391	820,734

(注)1 セグメント利益の調整額△5,391千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。